

ティーモー・ブライヤー教授講演会

ケルン大学現象学と人間学のためのハイゼンベルク教授職にあるティーモー・ブライヤー教授 (Prof. Dr. Tiemo Breyer) をお迎えして下記の通り講演会を開催いたします。

Leiblicher Ausdruck und intersubjektives Verstehen

日時：2018年10月26日（金）17：00 - 18：30

場所：同志社大学室町キャンパス6階大会議室

使用言語：ドイツ語（翻訳原稿・一部通訳あり）

主催：同志社大学文学部哲学科

共催：同志社大学文化学会

*事前申し込み不要・入場無料

ティーモー・ブライヤー教授について

ブライヤー教授は、1981年ドイツ生まれ。哲学・人間学・認知科学をフライブルク大学とケンブリッジ大学で学び、2010年にフライブルク大学で博士号請求論文『注意性と志向性』によって最優秀 (*summa cum laude*) の評価で学位を取得。その後フライブルク大学フッサール文庫研究員、ハイデルベルク大学哲学・精神医学カール・ヤスパース講座研究助手を経て、2014年に教授資格論文『身体化された相互主観性と共感』（邦訳近刊予定）によって教授資格を取得。同年ケルン大学若手教授、マインツ大学客員教授（2017-8年冬学期）を経て、2018年からケルン大学現象学と人間学のためのハイゼンベルク教授職にある。

今回のご講演「身体的表現と相互主観的理解」では、身体的・言語的表現のスペクトラムへの諸々の差異化された考察を展開し、相互主観的布置のなかで身体物体のもつ認識論的・社会存在論的関連性を問い、エトムント・フッサール、マックス・シェーラー、メルロ-ポンティ、ハンス-ゲオルグ・ガダマーといった哲学者の理念に基づきつつ、自然と精神、我と汝、固有性と異他性の中間領域に住まい、心理学と認知科学の範囲からの方法的な介入の仕方に対して接続できるコミュニケーション的分節化形式の人間学的-解釈学的規定を主題とすることについてお話しいたします。